

瓢箪山支店長が「診断士フェスタ2022大阪」にパネリストとして参加 ～ パネルディスカッションで地域金融機関としての伴走支援について解説 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、11月3日（木・祝）に開催された一般社団法人大阪府中小企業診断協会、一般社団法人大阪中小企業診断士会共催の「診断士フェスタ大阪2022」に協力しました。

本イベントは、11月4日の「中小企業診断士の日」にあわせて「ウィズコロナ時代と伴走支援」をテーマに、企業の成長に役立つセミナーを中心に開催されたものです。

第1部の「伴走支援と事業成長」をテーマにしたパネルディスカッションでは、当金庫瓢箪山支店長がパネリストとして登壇し、「当金庫は『課題解決No.1の信用金庫』を目指し、本部と営業店が一体となり中小企業に寄り添った伴走支援を行っている。金融機関と経営者は同じ『思い』をもって、同じ方向に進んでいくことが大切」と解説しました。

当金庫は、今後ともウィズコロナ・アフターコロナにおいて経営課題に直面する事業者に対し、さまざまなサポートメニューによる支援に取り組み、お取引先の持続的発展に寄与してまいります。

記

1. 開催日 令和4年11月3日（木・祝）
2. 開催場所 マイドームおおさか 3階Fホール
3. 内容 【第一部】「伴走支援と事業成長」パネルディスカッション
～ 中小企業支援と診断士の役割についての
キーパーソンによるディスカッション ～
【第二部】士業団体&協会所属研究会による専門家ミニセミナー等



パネルディスカッションに登壇した石崎支店長（壇上、右から2人目）

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

